

もっと女性が活躍できる建設現場座談会



日時 平成 28 年 1 月 29 日(金)
会場 静岡市職員会館
参加者 元請け業者（土木・建築）、下請け業者、
検査会社、トラック、ミキサー車運転手、
コンサルタント（土木・建築）
市役所職員（土木・建築）
建設現場で働く女性 13 名

1 開催目的

静岡市では、建設業界の就業者の減少と高齢化を解消するために、建設業に携わる女性就業者数を増やし、建設業の悪いイメージの払拭から、次世代の建設業界を支える人材の確保に繋がることを目的として、担い手確保・育成事業を実施しており、女性にとって安全に楽しく働くことができるような建設現場の環境整備を進めたいと考え、女性の目から見た建設現場の意見交換を開催しました。

2 実施方法

参加者を2班に分けて、現場で感じる「不満点」、「改善点」を話し合った。

3 当日の主な意見

◇現場（職場）環境について（トイレ、更衣室など）

トイレは男女別にしてもらいたい、トイレに入るところを見られたくない、トイレの位置を男性用と離してほしい、着替える場所がほしい など

◇会社の就業規則について（給与、ボーナス、週休2日、有休の取得、早退遅刻など）

同じ仕事内容なのに男性と比べ賃金が低い、手当を多くしてほしい、休日がほしい、保育園の迎えが大変 など

◇イメージについて（危険・汚い・きつい、男勝りなど）

3Kあり、ヘルメットをはじめ服装がダサい など

◇現場にある風潮について（女性蔑視、セクハラなど）

上司を連れて来いと言われる、経験が少ないと軽くあしらわれる、挨拶を無視される、大事な仕事は男性に任すという風潮がある、セクハラがある など

4 参加者が考える重要度

「女性が働きやすい建設現場の実現」のために、参加者が考える重要度は以下の順であった。

①給料、②休日、③トイレ・更衣室（職場環境）、④男女などの差別、⑤イメージ